

渋川医療センター 広報誌



高木 渋川市長と病院幹部

基本理念

北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携しその役割を果たします。

基本方針

1. 患者さんの気持ちに寄り添った医療を実践します。
2. 十分な情報を提供し、共に考える医療を行います。
3. がん・呼吸器疾患・重症心身障害児(者)の専門病院として社会に貢献します。
4. 地域医療支援病院として、救急医療を含め地域の医療機関と連携し地域医療に貢献します。
5. 生命の尊さと人権を尊重し、安全な医療を提供します。
6. 教育・研究事業に積極的に取り組み、質の高い医療を常に目指します。
7. 良質な医療を継続的に確保するため、健全な経営と適正な運営に努めます。

目次

年頭ご挨拶	1
看護外来はじめました	2
第21回市民公開セミナーを開催しました	3

シリーズ

●患者さんにとって耳寄りな情報 近年増加している眼の病気 ～加齢黄斑変性をご存知ですか～	4
インフルエンザに感染してしまった!?	5
がん予防と食事	7
●外来診療担当医表	9
●セカンドオピニオン担当表	11

年頭ご挨拶

明けましておめでとうございます

国立病院機構渋川医療センター 院長

齋藤 龍生



渋川医療センターは、西群馬病院と市立渋川総合病院の統合から3年目のお正月を迎えました。入院・外来患者数、手術件数、放射線治療件数、紹介患者数、連携協力医師数等も順調に増加し、群馬県地域医療計画における北毛の拠点病院の役割を果たしつつあるところです。脳神経外科では、日本てんかん学会認定施設を取得、さらに大学から平戸政史先生をお迎えし、神経調整センター（ニューロモジュレーションセンター）が立ち上がり、機能脳外の全ての領域がカバーできる施設となりました。これにより、てんかん、パーキンソン病などの異常運動、神経性疼痛の治療を本格的に始めました。4月からは整形外科医も増員され、手の整形外科と共に、股関節の整形外科にも専門性が高まります。また麻酔科常勤医の増員も決まり、新たな体制が展開できそうです。地域連携のハブ病院として、亥年にちなんで、職員一同まだまだ突進していこうと考えておりますので、よろしくご支援の程お願い申し上げます。

看護外来ははじめました



看護部 緩和ケア認定看護師 生方 貴子

看護外来とは、通院をしながら病気と共に生活されている方に対して、専門的な知識を持った看護師がご相談に応じる外来です。

最近の治療は入院日数が短くなり、自宅や住み慣れた場所で生活をしながら治療ができるようになりました。抗がん剤治療や放射線治療、がんによる痛みなどの症状を和らげる治療も通院で行うことができます。また、慢性呼吸器疾患（肺炎など）で在宅で酸素を使いながら生活をする方も多くなりました。

そのような中、患者さん・ご家族から「家でどんなことに気を付けたらいいのかもっと知りたい」「生活をする上での相談したい」とのご要望が聴かれました。

当院には、がんについての専門知識を持った専門・認定看護師9名、人工肛門等の専門知識を持った認定看護師2名、慢性呼吸器疾患の認定看護師1名がおります。

- ・がんと告知されて、頭が真っ白でこれからどのように考えていけばよいか分からない。
- ・がんの治療方法について医師から説明を聞いたが、生活をするうえで副作用など気をつけることは何かを知りたい。
- ・がんの痛みや体のつらさがあり、和らげる方法を知りたい。
- ・がん治療後のリンパ浮腫の予防やマッサージの方法を知りたい。
- ・人工肛門の周りの皮膚のトラブルについて相談をしたい。
- ・治療終了後の過ごし方について、自宅がよいか緩和ケア病棟がよいか相談したい。
- ・自宅で介護しているが、床ずれの予防方法や処置の方法を教えてください。
- ・家で酸素吸入をしているが、酸素吸入の方法や生活をする上での工夫など知りたい。

などの声に対してご相談に乗り、看護ケアの提供を致します。

私たちは患者さん・ご家族が安心して住み慣れた場所で生活しながら治療に取り組み、自分らしく過ごせるように看護の力を高めて、皆様のお役に立てるようにしていきます。

看護外来は、月曜日～金曜日の10時～16時、外来で行っています。
ご相談がございましたら、担当医・外来看護師にお声掛け下さい。

第21回 市民公開セミナー を開催しました



経営企画室長 瀧澤 宏俊

がん診療拠点病院機能強化事業の一環として平成30年11月17日（土）に第21回市民公開セミナーを開催しました。

今年は「渋川医療センターでできるがん診療PartⅢ」をテーマに、第1部に「がん相談」、「健康測定及び健康相談」第2部に「医学講演会」、第3部を「オペラ公演」の3部構成で実施しました。

第1部の「がん相談」コーナーでは「肺がん」「消化器がん」「乳がん」「泌尿器がん」「皮膚がん」「血液がん」の6ブースでそれぞれがん専門医が来場者からの熱心な相談に対応させていただき、健康測定では来場者の関心の高い「骨密度測定」「動脈硬化測定」「肺年齢測定」「血圧測定」「アロマケアハンドマッサージ」を実施。健康相談では、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリ、MSWなどによる、「薬」「栄養（食事）」「看護」「リハビリ」「福祉相談」を行いました。

人気の健康測定コーナーでは測定器を増設するなどの対応を行ったため、来場者の方の混乱もなくスムーズに実施されました。

また、第2部の医学講演では山中皮膚科医長による「皮膚がんについて：早期発見のために」と須永栄養管理室長による「がんと栄養・食事」の2題の講演が行われ、早期発見の重要性、普段の食生活について気をつける点等をお話いただき、熱心にメモを取る来場者も多く見られました。

第3部はめいたオペラの皆様によるオペラ公演が行われ、クラシックから懐かしの童謡まで、すばらしい歌声と演奏で来場者の方を楽しませてくれました。

来年度も地域の方々に満足いただける様な講演会を実施していきたいと考えております。



—患者さんにとって耳よりな情報—

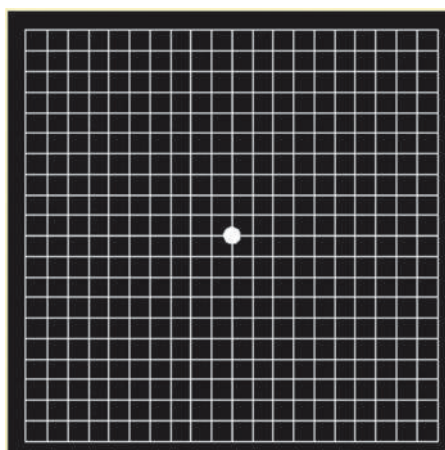
近年増加している眼の病気 ～加齢黄斑変性をご存知ですか～

視能訓練士 高田 美鈴

最近、見え方の不調はありませんか？

まず下の表を見てください。どんなふうに見えますか？

- ・老眼鏡をかけたまま片眼ずつチェックして下さい。
- ・中心の白い点を見つめて下さい。



このとき周りの線が歪んでみえたり、消えて見えたりする部分はありませんか？また、色が変わって見えたりしませんか？

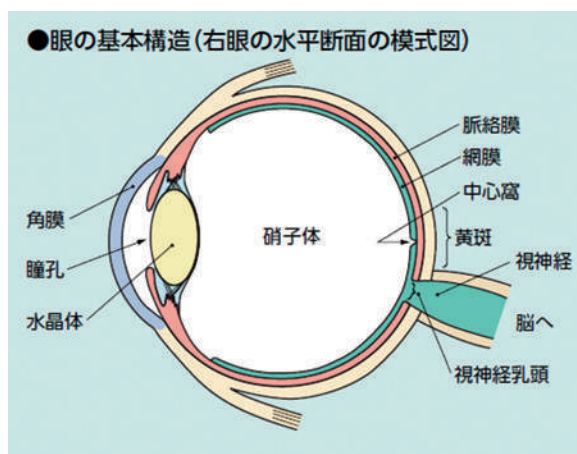
加齢黄斑変性について

人間の眼の奥には、「網膜」というカメラでいうとフィルムの役割をする膜があります。その中心に位置しているのが黄斑で、物を見たり、色を感じるのに重要な細胞が集中している場所です。

加齢黄斑変性という病気では、この黄斑部に出血やむくみが起こってきます。高齢者の視覚障害の重要な原因です。危険因子には、加齢のほかにも喫煙・家族歴・紫外線などがあげられています。高齢化に伴い患者数が増加しており、今後さらなる増加が予測されています。

最近は抗VEGF薬（抗血管内皮増殖因子阻害薬）と呼ばれる、新生血管の成長を抑える薬剤を眼内に注射することで、視機能の改善を期待することができるようになりました。

気になる症状がある方は、一度眼科にて相談されることをおすすめします。



—患者さんにとって耳よりな情報—

インフルエンザに感染してしまった!?



症状は？

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の全身症状が比較的急速に現れ、これらに続いてのどの痛み、鼻汁、咳等の呼吸器症状も見られます。「普通の風邪」と比べて全身症状が強い事が特徴です。また小児や高齢者、基礎疾患（慢性呼吸器疾患又は慢性心疾患がある、糖尿病または腎臓病）がある方は二次的に細菌感染症を起こしやすく、入院や死亡の危険が増加します。

検査は？

鼻腔や咽頭の粘膜を綿棒でぬぐって採取し、インフルエンザウイルスがいるかどうかを検査します。検査時間は短く15分程度で結果が分かります。しかし、症状が現れてから短い時間（3～6時間以内）の場合、ウイルス量が少ないために検査で検出することができません。



感染しない、感染させないために

一般的に、インフルエンザ発症前日から発症後3～7日間は鼻やのどからウイルスを排出するといわれています。排出期間の長さには個人差がありますが、手洗いの励行や症状が続いている場合には、外出を控えて不織布製マスクを着用する等の咳エチケットを実施し、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。

咳エチケット：咳やくしゃみの飛沫により周りの方への感染を広げないための方法

①マスクを着用する



鼻から顎まで覆う

②ハンカチなどで口や鼻を覆う



③上着の内側や袖で覆う



ワクチン接種の効果と接種時期

ワクチン接種だけでは感染や発症そのものを完全に防ぐことはできませんが、重症化や合併症の発生を予防する効果は証明されています。特に高齢者に対してはワクチンを接種の有無を比べると、死亡の危険を5分の1に、入院の危険を約3分の1～2分の1にまで減少させることが期待できます。

—患者さんにとって耳よりな情報—

インフルエンザワクチンは、効果が発現するまで2週間～4週間が必要と言われています。流行期（12月～3月）に入る前（10月～11月）に接種することが効果的です。また、13歳未満の小児では2回接種が必要ですので、お子さんの体調や他の予防接種との時期などを考慮しながら、スケジュールを決めるようにしましょう。

インフルエンザ治療薬

インフルエンザ治療薬は、ウイルスの増殖を抑えて感染の治療と拡大を防ぐ薬です。最近では様々な薬が開発され、1人1人の患者さんの状態やニーズに合わせて治療薬を選択できるようになりました。



吸入薬であるイナビルは、1回の使用でインフルエンザの治療ができる画期的な薬として、昨シーズン全国で最も多く使用されました。今年新たに発売された経口薬のゾフルーザも、1回の服用で治療が可能です。またゾフルーザは、同じ飲み薬のタミフルと比べると下痢や悪心などの副作用が少なく、より早く効くと言われてます。タミフルとリレンザは1日2回を5日間使用しなければなりません。医療費を安く抑えられるというメリットがあります。どの薬も、インフルエンザの発症から48時間以上経過してしまうと効果が十分得られない可能性があります。インフルエンザを疑う症状が出たらすぐ医療機関を受診することをおすすめします。また、インフルエンザ治療薬使用後の有無にかかわらず、特に若年者で異常行動が起きる場合があります。転落等の万が一の事故を防止するためにも、発熱から2日間は窓を閉め切った1階の部屋で寝かせたり、ご家族の方が付き添ったりと観察を十分に行ってください。インフルエンザ治療薬は効果があると比較的早期に解熱して体が楽になります。しかし、完全に治ったわけではありませんので、他の人にインフルエンザをうつさないよう発症した後5日経過し、かつ

《インフルエンザの治療薬》

解熱後2日間（小児では解熱後3日間）は学校などを休むといった他の人との接触は控えましょう。

薬品名	タミフル	リレンザ	イナビル	ゾフルーザ
投与経路	経口	吸入	吸入	経口
用法	1日2回5日間	1日2回5日間	1回	1回

インフルエンザ治療薬の予防投与

インフルエンザを発症している人の同居者や共同生活者のうち、高齢者（65歳以上）、慢性呼吸器疾患又は慢性心疾患がある、糖尿病または腎臓病があるなどの方は重症化しやすく感染予防目的で抗インフルエンザ薬を使用することができますので、主治医や医療機関にご相談ください。

重要ポイントは以下の点！



- まずは、手洗い、ワクチン接種等で予防
- 急な発熱、倦怠感等の症状があったら、すぐに医療機関を受診（抗インフルエンザ薬は早期投与が効果的）
- 未成年者は1人にしないよう注意（異常行動に注意）
- 解熱後、2日間は外出を控える

予防、早期治療と感染拡大防止で

インフルエンザの流行時期をのりきりましょう。

ご来院の方はマスクの着用をお願いします

薬剤師

臨床検査技師

ICT感染管理認定看護師／副看護師長

根岸 由貴

高橋あゆ子

倉澤 幸

がん予防と食事

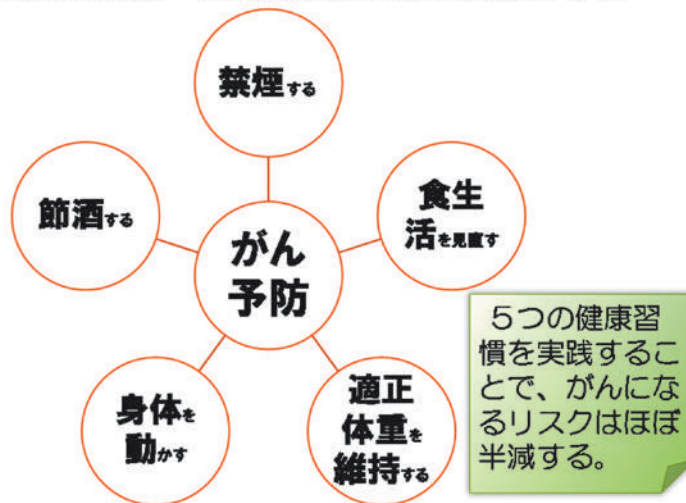
栄養管理室長 須永 将広

これまで、健康づくりには、「規則正しい食事」や「バランスの良い食事」が大切であることを紹介してきました。今号は、『がん予防』をテーマに栄養と食事について紹介します♪

がん予防ガイドラインには、下記の5つの健康習慣を実践することで、「がんになるリスクはほぼ半減する」とされていますので、ぜひ、普段の食生活を見直してみても如何でしょうか。

がん予防と栄養

【日本人のためのがん予防法】 科学的根拠に根ざしたがん予防ガイドライン



①禁煙する



たばこを吸う人は、吸わない人に比べて、がんになるリスクが約1.5倍高まることがわかっています。

たばこは、日本人を対象とした研究の結果から、肺がんをはじめ、食道がん、膵臓がん、胃がん、大腸がん、膀胱がん、乳がんなど多くのがんに関連することが示されています。

②食生活を見直す



◇ 塩分の摂りすぎ
◇ 野菜や果物を摂らない
◇ 熱すぎる飲み物や食べ物を摂ること
これらが「がんの原因」になることが明らかになっています。

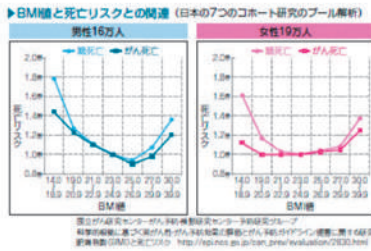
- ◆ 減塩する・・・男性は9g未満、女性は7.5g未満に。塩蔵品、食塩摂取量は最小限を心がける。
- ◆ 野菜と果物・・・野菜と果物の摂取が少ないグループは、がんのリスクが高いことが示されている。
- ◆ 熱い食べ物・・・熱い食べ物や飲み物を熱いままると食道がんと食道炎のリスクが高くなる。

③適正体重を維持する：太りすぎ・やせすぎに注意



太りすぎ、痩せすぎに注意

- ◆男性では、BMI 21.0～26.9で、がん死亡・死亡のリスクが低い。
- ◆女性では、BMI 19.0～24.9で死亡のリスクが低い。



④身体を動かす：仕事や運動などで、身体活動量が高い人ほど、がん全体の発生リスクが低くなる。



仕事や運動などで、身体活動量が高い人ほど、がん全体の発生リスクが低くなる。

男性では、結腸がん、肝臓がん、膵臓がん、女性では、胃がんにおいて、身体活動量が高い人ほど、リスクが低下していた。

- ◆現在の身体活動量を少しでも増やしましょう。
たとえば、今より毎日10分ずつ長く歩くなど。
- ◆運動習慣を持つようにしましょう。
たとえば、30分以上の運動を週2日以上行うなど。

⑤節酒する：お酒を飲むなら、純エタノール換算で1日当たり約23gまでとし、飲まない人、飲めない人は無理に飲まないようにしましょう。



お酒を飲むなら、純エタノール換算で1日あたり約23g程度までとし、飲まない人、飲めない人は無理に飲まないようにしましょう。

1日あたりの平均アルコール摂取量が純エタノール量で23g未満の人に比べ、46g以上の場合で40%程度、69g以上で60%程度がんになるリスクが高くなります。

※ 純エタノール23gの目安



ビール500ml (1本)



日本酒 180ml (1合)



ワイン250ml (グラス2杯)

これまでに紹介した『バランスの良い食事』をベースに、食生活を見直してみてもいいでしょうか♪



渋川医療センター外来診療担当医表

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
総合診療科	午前	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋
	午後 (予約)	アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋				アクザワ ノブヒロ 阿久澤 暢洋
呼吸器内科	午前	オオサキ タカシ 大崎 隆	イジマ ヒロノブ 飯島 浩宣(七日市)	オチアイ マイ 落合 麻衣	ジングウ アスカ 神宮 飛鳥	クワコ トモヒト 桑子 智人
	午前	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘	オオサワ ショウ 大澤 翔	ツチャ ユキコ 土屋 友規子	サクライ レイコ 櫻井 麗子(群大)	ワタナベ サトル 渡邊 寛
	午前	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	スナガ ノリアキ 砂長 則明(群大)	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	マスタ トモミ 増田 友美(群大)	オノ アキヒロ 小野 昭浩
	午前		オチアイ マイ 落合 麻衣			
	午前					オチアイ マイ 落合 麻衣
内分泌・代謝内科 内科	午前	カサイ ユウコ 笠井 裕子(群大) (内分泌・代謝内科)		オオサキ アヤ 大崎 綾(群大) (内分泌・代謝内科)	カワシマ チエコ 川島 智恵子 (内科)	ヨシノ サトシ 吉野 聡(群大) (内分泌・代謝内科)
循環器内科	午前	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治	イワサキ トシヤ 岩崎 俊弥(北関) (第2,4週)	ミキ ユウコ 三樹 祐子(心血セ) (第1,3,5週)	クマヅラ ヒサオ ★熊倉 久夫(北関) (第1週 13:30~)	ヤマギシ トシハル 山岸 敏治
	午後			クハラ ジュン 栗原 淳(心血セ) (第2,4週)	ナカシマ クニキ ★中島 邦喜(北関) (第3週 13:30~)	
脳神経内科	午後			ヤナギサワ タカユキ 柳澤 孝之 (第1,3,5週13:30~)		
小児科 (重心のみ・予約制)	午前		イシキタ ナオユキ 石北 直之(重心)	イシキタ ナオユキ 石北 直之(重心)	イシキタ ナオユキ 石北 直之(重心)	
	午後			シミズ ノブソウ 清水 信三(重心)		
血液内科	午前	ミハラ マサヒロ 三原 正大	イソダ アツシ 磯田 淳(予約)	マツモト モリオ 松本 守生	マツモト モリオ 松本 守生	ミハラ マサヒロ 三原 正大
	午後 (予約)		オガワ ヨシユキ 小川 孔幸(群大) (第2週)			
	午前	イソダ アツシ 磯田 淳	タハラ ケンイチ 田原 研一	タハラ ケンイチ 田原 研一	イソダ アツシ 磯田 淳	アカシ ナオキ 明石 直樹
	午前	オオサキ ヨウヘイ 大崎 洋平(群大)	サワムラ モリオ 澤村 守夫	ミハラ マサヒロ 三原 正大	タハラ ケンイチ 田原 研一(予約)	
消化器内科	午前	ナガジマ ヨシミ 中島 良実(群大)	ナガシマ タモン 長島 多聞	ヤマザキ ユウイチ 山崎 勇一(群大)	アライ ヨウスケ 新井 洋佑	フルヤ ケンスケ 古谷 健介
	午前		カナヤマ ユウキ 金山 雄樹(群大)	ウエハラ ダイスケ 植原 大介(群大)	カキザキ サトル 柿崎 暁(群大)	アダチ タクヤ 安達 拓也(群大)
緩和ケア科 (予約制)	午後	コバヤシ ゴウ 小林 剛		コヤ ヒロコ 小屋 紘子	コヤ ヒロコ 小屋 紘子	コバヤシ ゴウ 小林 剛
精神腫瘍科 (予約制)	午後	マジマ タケヒコ 間島 竹彦	マジマ タケヒコ 間島 竹彦		マジマ タケヒコ 間島 竹彦	
放射線治療科 (予約制)	午前	ナカムラ ユウジ/マツウラ マサナ 中村 勇司/松浦 正名	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	マツウラマサナ/クワコケイコ 松浦正名/桑子慧子	ナカムラ ユウジ 中村 勇司	ナカムラユウジ/クワコケイコ 中村勇司/桑子慧子
	午後		マツウラマサナ/クワコケイコ 松浦正名/桑子慧子		マツウラマサナ/クワコケイコ 松浦正名/桑子慧子	
麻酔科	午前		ウチハン ヨシタカ 内橋 慶隆			ウチハン ヨシタカ 内橋 慶隆

外来受付時間 8時30分～11時00分 注) 担当医変更の場合もございますので、予めご了承ください。

※眼科の月曜日診察は紹介状をお持ちの方とご予約されている方のみ受診できます。

※整形外科は初再診にかかわらず、原則完全予約制です。

※原則、午後は予約診察のみとなりますが、★印の診察については受付時間は15:00までとなります。

※(予約)と記載がある場合は、予約患者さんのみの診察となります。

※再診予約の方については16:00まで再来受付機での受付が可能です。

◎予約変更について 受付時間：平日13～17時 TEL.0279-26-3010 (予約専用)
TEL.0279-23-1010 (代表)

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
外科(消化器)	午前	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	ヨシナリ ダイスケ 吉成 大介	コバヤシ ミツノブ 小林 光伸	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文
	午後				スゲガワ シンサク ★助川 晋作 (肛門科・消化器外科) (第1.3.5週 13:30~)	
	午前		タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文		タカハシ ケンゴ 高橋 研吾	
外科(呼吸器)	午前	ナガシマ トシテル 永島 宗晃		カワシマ オサム 川島 修		カワシマ オサム 川島 修
脳神経外科	午前	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司
	午後			ミヤギシマ タカアキ ★宮城島 孝昭(群大) 14:00~		イベ ヨウコ 伊部 洋子(群大)
	午前		ヒラト マサブミ 平戸 政史	ヒラト マサブミ 平戸 政史	ヒラト マサブミ 平戸 政史	
	午後 (予約)		ヒラト マサブミ 平戸 政史	ヒラト マサブミ 平戸 政史	ヒラト マサブミ 平戸 政史	
整形外科 (予約制)	午前		イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一(群大)		ヤナガワ タカシ 柳川 天志(群大)	
	午後		イツカ ヨウイチ 飯塚 陽一 (群大)	オカムラ コウイチ 岡邨 興一(群大) (第1.3.5週) オモダカ タクヤ 面高 拓矢(群大) (第2.4週)	ヤナガワ タカシ 柳川 天志 (群大)	
	午前	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知		カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	
泌尿器科	午前	タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美	オカベ カズヒコ 岡部 和彦 (第1.3.5週)	タムラ ヨシミ 田村 芳美	カトウ ハルオ 加藤 春雄
	午後 (予約)	タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美	カトウ ハルオ 加藤 春雄 (第2.4週)	カトウ ハルオ 加藤 春雄	タムラ ヨシミ 田村 芳美
	午前 10:00まで	カトウ ハルオ 加藤 春雄	カトウ ハルオ 加藤 春雄	タムラ ヨシミ 田村 芳美	カトウ ハルオ 加藤 春雄	タムラ ヨシミ 田村 芳美
耳鼻咽喉科	午後	マツヤマ トシユキ ★松山 敏之(群大) (14:30~)				
皮膚科	午前	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	ヤマナカ マサヨシ 山中 正義	アオヤマ クミ 青山 久美
	午前	アオヤマ クミ 青山 久美	ナカジマ ミズホ 中島 瑞穂(群大) (第2.4週)	アオヤマ クミ 青山 久美	アオヤマ クミ 青山 久美	
甲状腺科	午前	ヨコタ トオル 横田 徹	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコタ トオル 横田 徹		ヨコエ タカオ 横江 隆夫
	午後 (予約)			ヨコタ トオル 横田 徹		
乳腺科	午前	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコタ トオル 横田 徹	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子		ヨコタ トオル 横田 徹
	午後 (予約)		ヨコタ トオル 横田 徹			ヨコタ トオル 横田 徹
乳腺・甲状腺科	午前	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコエ タカオ 横江 隆夫		
眼科	午前	タカヤマ マユコ 高山 真祐子(群大)	タカヤマ マユコ 高山 真祐子(群大) (偶数月担当)	群大 ローテーション		
	午後 (予約)		ムカイ リョウ 向井 亮(群大) (奇数月担当)			
	午前	ムカイ リョウ 向井 亮(群大)				

セカンドオピニオン担当表 (平成31年1月1日現在)

科 別	予約時間	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (肺腫瘍)	午後3時30分～	斎藤 龍生	—	斎藤 龍生	—	—
呼吸器外科	午前中	川島 修	—	—	—	—
血液内科	午後2時～	松本 守生	—	—	磯田 淳	—
乳腺・甲状腺外科	午後2時30分～	横江 隆夫 (午後～)	—	横田 徹	—	—
消化器外科	午後	蒔田 富士雄	—	小林 光伸	—	—
放射線科	午後3時～	—	—	松浦 正名	中村 勇司	—
緩和ケア科	午後	小林 剛	—	—	—	小林 剛
皮膚科	午後	山中 正義	—	—	—	—
泌尿器科	午後3時30分～	—	—	—	—	田村 芳美
脳神経外科	午後	—	—	宮城島 孝昭	—	—

※対象者:原則として患者さん本人、患者さんの同意を得た家族 費用:30分毎に5,400円

※お問い合わせ先:TEL0279-23-0626 地域医療連携室(直通)

患者さんの権利

1. 最善の医療サービスを受ける権利
2. 人格・人権を尊重される権利
3. 知る権利
4. 自己決定権
5. プライバシーを保護される権利

がん相談支援センター

- がんに関するご相談は「がん相談支援センター」でお受けします。
担当:ソーシャルワーカー(尾方・山田・山浦・落合)
電話:0279-24-9229(直通)
(受付時間は平日8:30~17:15です)
- メールによるご相談は、下記にて終日受け付けておりますが、回答は若干の日数を要する場合がございます。
E-mail:shibukawamc@hosp.go.jp

看護の理念 患者さんの立場に立ち、心あたたかく、信頼に応える看護を提供します。

看護の基本方針

1. 患者さんの気持ちを大切に、思いやりとまごころ込めた看護を提供します。
2. 患者さんと共に考える看護の実践により患者さんが自ら意思決定が行えるよう支援します。
3. 地域の人々と連携を図ることで患者さんの生活の質の維持向上に努めます。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重した質の高い看護を提供します。
5. 看護の専門性を追求し、根拠に基づいた安全で安心な看護を提供します。

編集後記

あけましておめでとうございます。平成最後の新年を迎えました。今年は新しい時代の幕が開きます。素晴らしい時代を築いていきたいですね。平成の時代には多くの激甚災害に見舞われ、昨年も豪雨や地震などの自然災害が多く発生し、2018年の漢字は「災」となりました。日ごろからの備えをおこない、災害の無いよい年になればと祈念しています。

冬の訪れとともに上州のからっ風が身に染みています。寒波の襲来から身を守るとともにインフルエンザにも注意しましょう。ウィズでは今年もインフルエンザに関する情報をお伝えしています。感染への予防に役立て寒い冬を乗り切りましょう。本年も渋川医療センターと広報誌「ウィズ」をどうぞよろしく願いいたします。(T・K)



独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

〒377-0280 群馬県渋川市白井383番地 TEL 0279-23-1010 (代) FAX 0279-23-1011

<https://shibukawa.hosp.go.jp>